

組立設置・取扱説明書

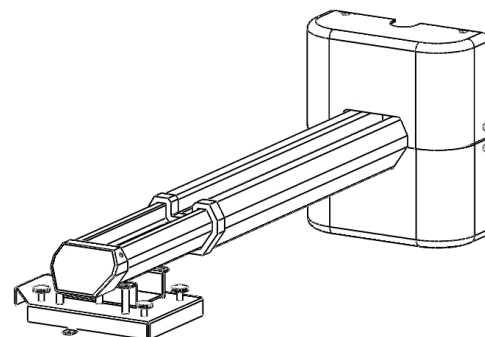
お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本金具の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。

施工業者様へ

お客様の安全のため取付場所の強度は、本金具とプロジェクターの荷重に耐えられるよう十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。取付場所の構造や強度は、設置環境により異なりますので、施工業者様が調査の上、最適な取付方法を選択し施工を行ってください。



- 工事を請け負われた施工業者のかたは設置完了後、組立設置・取扱説明書（本書）をお客様へお渡し頂き、安全上の注意の説明を実施してください。

もくじ

本機を安全にお使いいただくために	
ご使用前に必ずお読みください	2~3
仕様	4
セット内容の確認	5
組立要領	6~10
調整手順	10~12
映写距離表	12
補助ワイヤー設置要領	13~14

ご使用前に、この組立設置・取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この組立設置・取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には本書の「本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください」をお読みください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



してはいけない「禁止」内容を示しています。



警告



定期的に点検を依頼する

販売店または施工業者にご相談ください。
搭載プロジェクターの変形、ボルト等が緩んでいる可能性、もしくは壁等の亀裂、腐食、等が考えられ、その状態のまま使用すると搭載プロジェクターが落下する恐れがあります。



工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事をしない

工事の不備により、本金具が落下してけがの原因となります。



プロジェクターや本金具にぶらさがったり、ゆすったりしない

本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



物を掛けない、プロジェクター以外搭載しない

本金具または搭載物が落下する恐れがあります。

警告



設置作業は必ず二人以上の作業者で行う

本金具の破損、及びプロジェクターの破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

設置をする壁面は、本金具とプロジェクターの荷重に十分耐えうる強度を確保してください。強度が不足している場合は補強工事をおこなってください。取付ボルトを締め付ける際は、電動工具による締め付けはおこなわないでください。本金具が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



設置後の方向、傾斜調整は所定のボルトを緩めてから調整し、調整後は緩めたボルトを確実に締め付ける

設置後、所定のボルトを緩めずに方向・傾斜調整をすると、本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



塔載するプロジェクターは必ず所定取付位置に設定する

所定取付位置以外で設定すると、本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



対応機種以外のプロジェクターを搭載しない

本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。

注意



プロジェクター設置にあたっては、プロジェクターの説明書と異なった設置条件での取り付けはしない

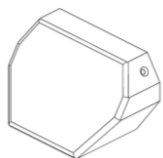
- 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

仕様

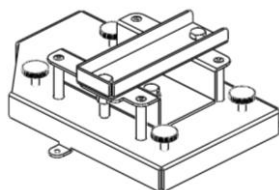
商品名	PJ 壁掛け金具 タイプ1
製品寸法 (mm)	
角度調整	上傾斜 3° 下傾斜 5° 左右傾斜 ±3° 回転方向 ±3°
製品質量 (kg)	約 11
最大搭載質量 (kg)	5
対応機種	RICOH PJ X4240N / WX4240N

- ※ 最大搭載質量については、設置面の支持強度が十分確保されており、取付ボルトおよびねじが適正な施工をされている場合の質量です。
- ※ プロジェクターの質量についてはプロジェクターの説明書をご確認ください。
- ※ 仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

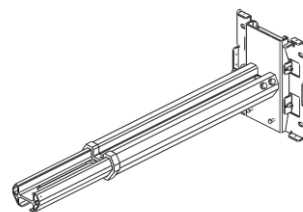
セット内容の確認



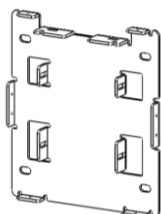
先端キャップ ×1



プロジェクター取付ベース ×1



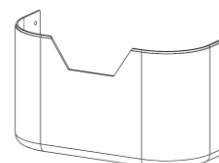
フレーム金具 ×1



壁面金具 ×1



カバー上 ×1



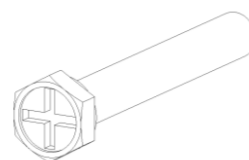
カバー下 ×1



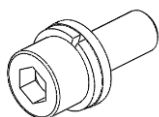
十字穴付皿小ねじ
(M3×6) ×2



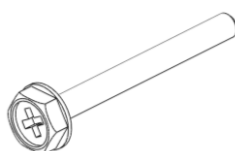
十字穴付トラス小ねじ
(M4×15) ×9



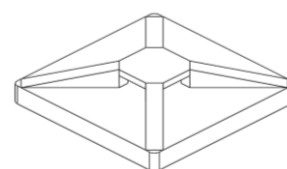
十字穴付六角ボルト
(M6×45) ×2



座金組込六角穴付ボルト
(M6×16) ×4



座金組込十字穴付六角ボルト
(M4×16) ×3



コンベックス ×5



結束バンド ×5



組立設置・取扱説明書 (本書) ×1

組立要領

【はじめに】

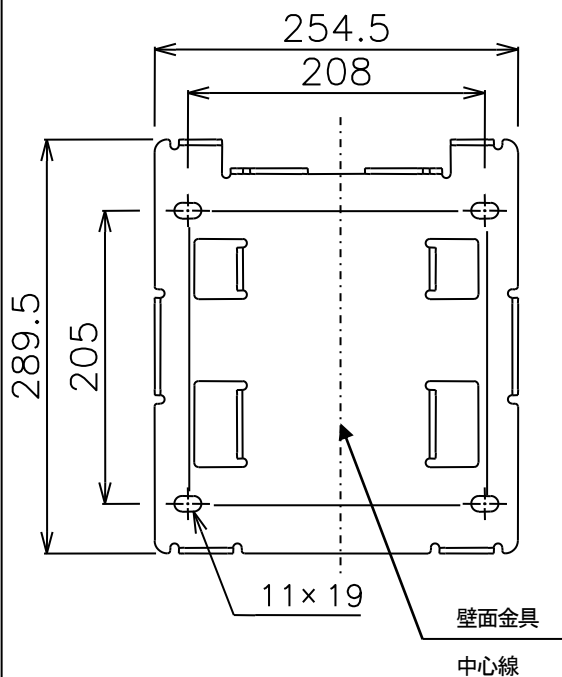
本セット内容の部品には取付箇所、取付方向が決まっていますので、組立設置・取扱説明書（本書）をよく確認の上、組み立ててください。

組立作業にはあらかじめプラスドライバー、スパナ等工具をご用意ください。

警告

- ・ 設置をする壁面は、本金具とプロジェクターを支える十分な強度が必要です。設置前に本金具とプロジェクターの合計質量をご確認ください。強度が不足している場合は補強工事をおこなってください。
- ・ M10 のナット・ワッシャー・ボルト（アンカー）を使用してください。M10 より小さいナットとボルトを使用すると本金具が落下する恐れがあります。
- ・ 本金具には壁面への取り付けのためのネジ類は付属していません。壁面の材質・強度をご確認のうえ1箇所の引き抜き強度が3700N（380kgf）を確保できるように検討してご使用ください。

●壁面金具を壁に取り付ける



<1>

映写距離表と仕様を確認し壁面金具の設置位置を決めます。

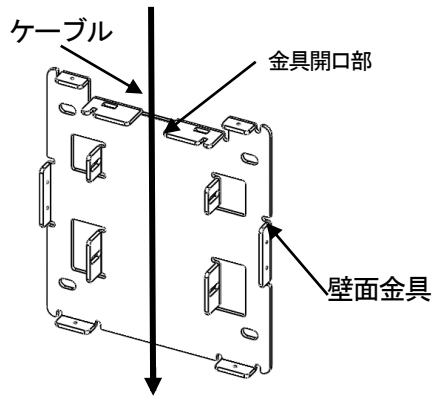
※ 壁面金具の中心線とプロジェクターのレンズ中心は同じ位置にあります。

<2>

左図の4箇所の長穴（11×19）位置で壁に固定します。長穴に対応する位置にボルト（アンカー）を準備してください。

<3>

壁面金具を壁に取り付けてください。

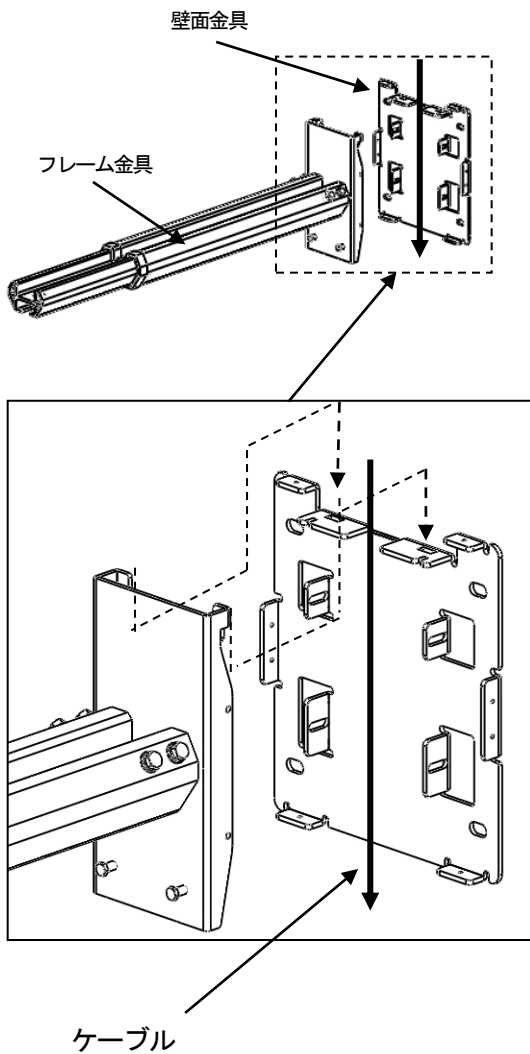


<4> ●上方向から配線する場合

壁面金具を壁に設置後、図のようにケーブルを上から下に壁面金具の開口部分を通し設置してください。

下方向からの配線は、以下の手順でフレーム金具を取り付け、説明書 P8「下方向から配線する場合」を参照してください。

●フレーム金具を取り付ける

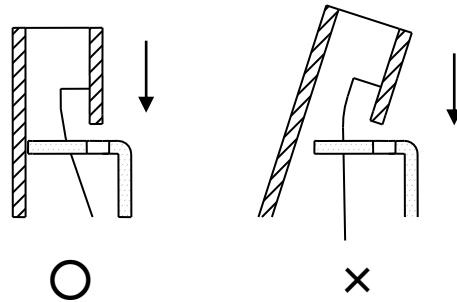


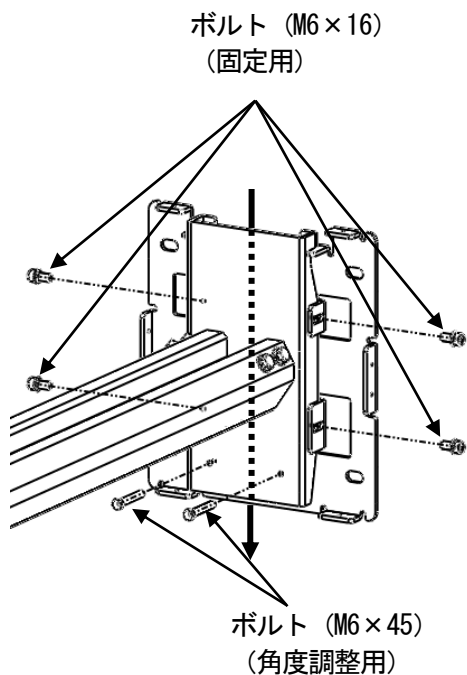
図は上方向のケーブル配線例です

<5>

フレーム金具を壁面金具の溝に引っ掛けてください。

フレーム金具は上から下へ垂直に差し込む様に奥まで引っ掛けてください。





図は上方向のケーブル配線例です

<6>

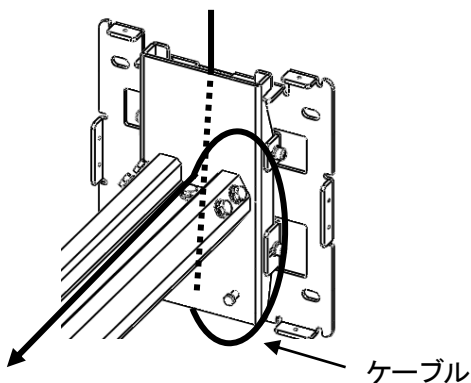
付属の座金組込六角穴付ボルト (M6×16) で4箇所を固定してください。フレームの角度調整用の六角ボルト (M6×45) で2箇所を固定してください。

- ・ 調整方法については項目「調整手順2」をご参照ください。

<7>

ケーブルを隠すようにフレーム金具を壁面金具に取り付けてください。

- ・ フレーム金具取り付けの際はケーブルを挟み込まないよう十分注意、確認をしてください。

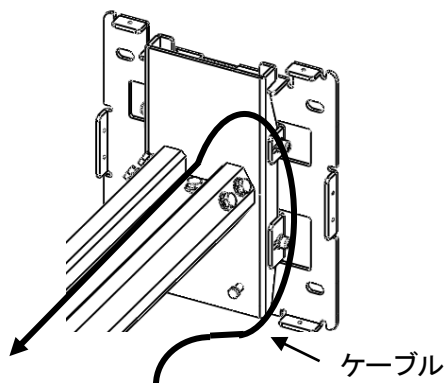


図は上方向のケーブル配線例です

<8>

ケーブルをフレームの溝に沿うように配置します。必要に応じて結束バンド・コンベックスを使いケーブルを仮固定してください。各種調整が完了したら本固定をしてください。

- ・ 各種調整手順については項目「調整手順」をご参照ください。

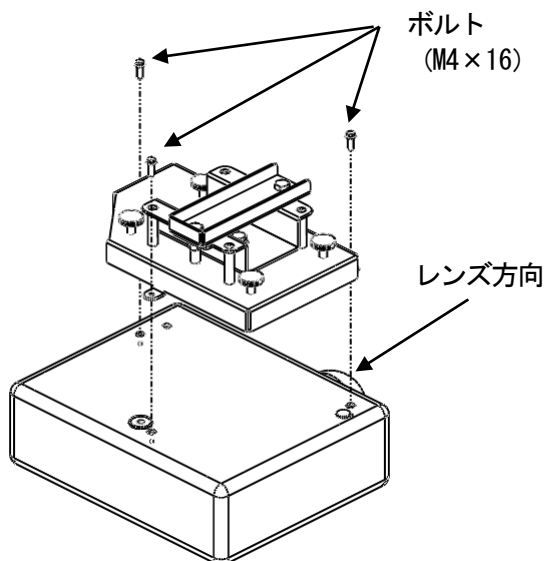


図は下方向のケーブル配線例です

<9> ● 下方向から配線する場合

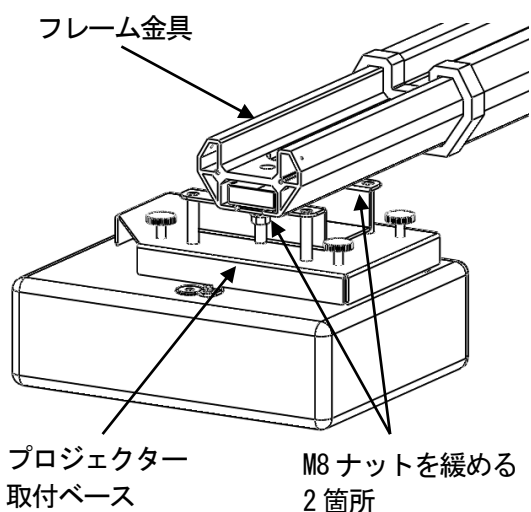
ケーブルをフレームの溝に沿うように配置します。必要に応じて結束バンド・コンベックスを使いケーブルを仮固定してください。各種調整が完了したら本固定をしてください。

● プロジェクターをフレーム金具に取り付ける



<10>

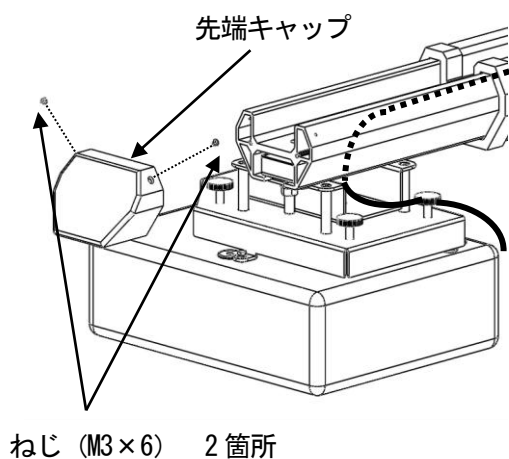
付属の十字穴付六角ボルト (M4×16) を使用して、プロジェクター取付ベースをプロジェクターに固定してください。(3箇所)



<11>

プロジェクター取付ベースのナット2箇所を緩めフレーム金具に差し込み、緩めたナットを締め仮止めしてください。

- ・ 先端キャップ設置後、本固定をしてください。
- ・ 左右回転調整方法については項目「調整手順 3」をご参照ください。
- ・ 投射サイズの微調整 (前後方向20mm以内) については項目「調整手順1」をご参照ください。



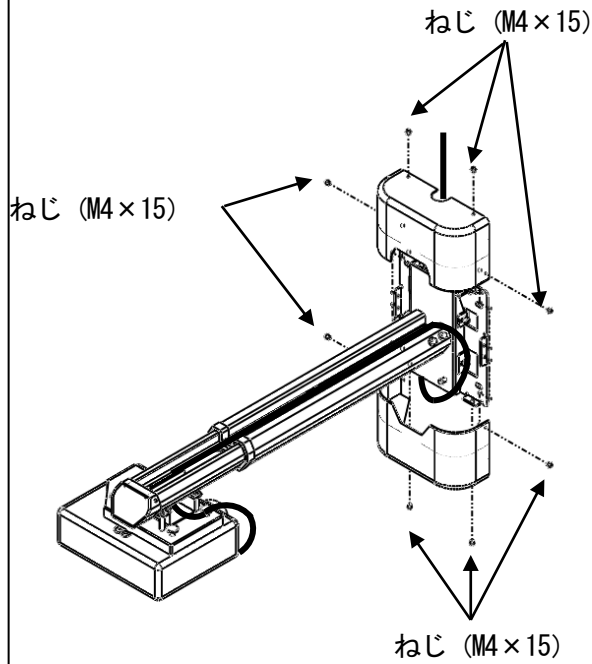
<12>

先端キャップをフレーム金具に取り付け十字穴付皿小ねじ (M3×6) で2箇所固定してください。

先端キャップ固定後、プロジェクター取付ベースのナット2箇所を締めてください。

ケーブルをフレームの溝から開口部を通して、プロジェクター側へ下ろし、プロジェクターへ接続します。

● カバーの取り付け



<13>

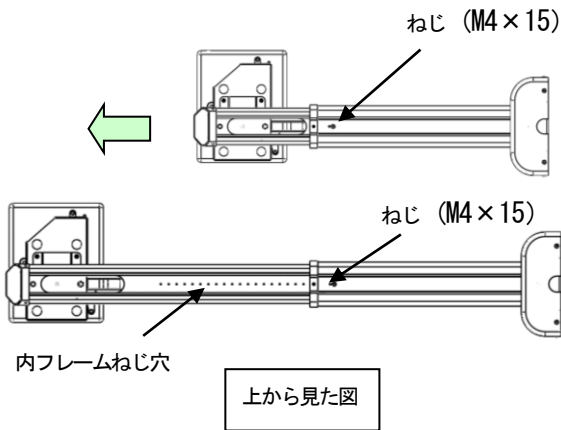
付属の十字穴付トラス小ねじ (M4×15) を使用しカバー上とカバー下を固定してください (各4箇所)。

- ・ カバー取り付けの際はケーブルを挟み込まないように十分注意、確認をしてください。

図は上方向のケーブル配線例です

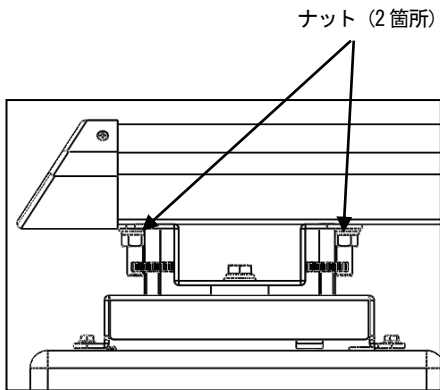
調整手順

調整に当たって、必要に応じてプロジェクターの自動台形補正のON/OFFを切り替えてください。自動台形補正についてはプロジェクターの取扱説明書をご確認ください。

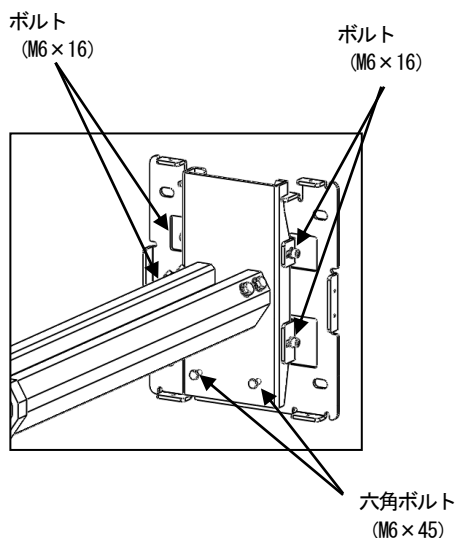
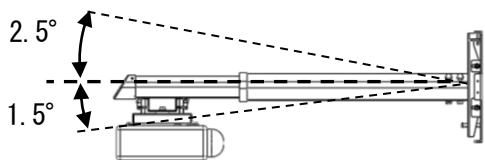


1、前後調整

フレームをプロジェクターの投射サイズに応じた位置まで伸ばします。所定の位置のねじ穴 (20mm ピッチ) に合わせて、付属の十字穴付トラス小ねじ (M4×15) で固定を行います。外フレーム2箇所の穴のうち、最適な方を利用してください。ねじ穴が合わない場合は、フレームを少し引き出して次に合うねじ穴位置で固定してください。



プロジェクター取付ベースのナットを緩め、金具位置を微調整 (0~10mm) してください。調整後は緩めたナットを必ず締めなおし固定してください。



2、上下垂直方向調整（フレーム水平出し）

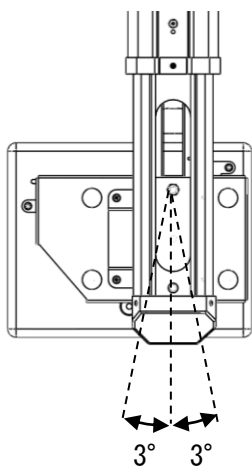
（調整レンジ：上2.5° 下1.5°）

調整の為に座金組込六角穴付ボルト（M6×16 4箇所）を緩めてください。

六角ボルト（M6×45 2箇所）を回し、上下垂直方向の調整を行ってください。

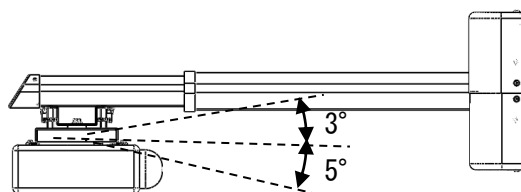
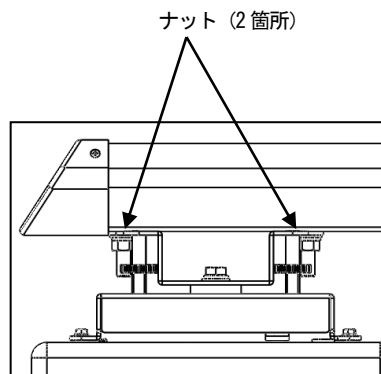
緩めた座金組込六角穴付ボルト（M6×16 4箇所）を締めて固定してください。

- ・ 六角ボルト（M6×45）はボルト先端が左右均等に当たるように調整してください。
- ・ 角度調整はフレームの水平を出すことを目的としています。



3、左右回転方向の調整（調整レンジ：±3°）

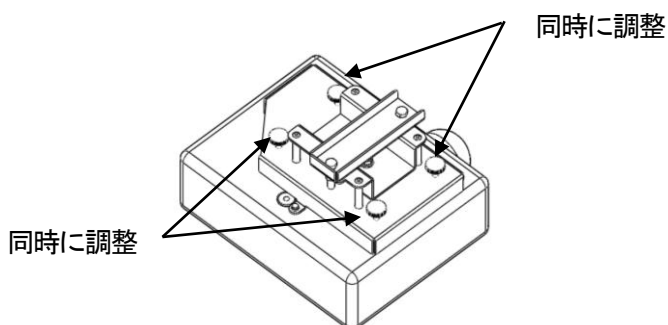
プロジェクター取付ベースのナットを緩め、金具回転方向を調整してください。調整後は緩めたナットを必ず締めなおし固定してください。

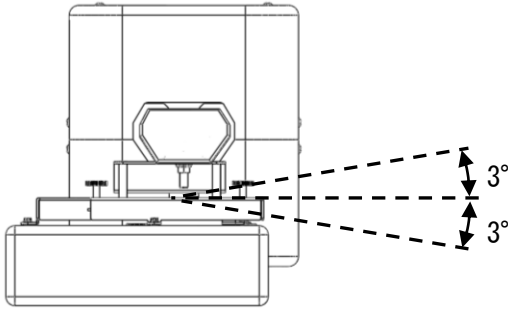


4、前後傾斜調整（調整レンジ：上3°・下5°）

調整ノブを回して前後傾斜の調整をしてください。

調整後は全ての調整ノブがしまっていることをご確認ください。



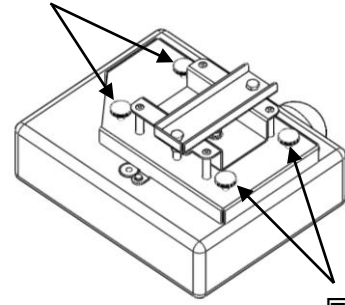


5、左右傾斜調整（調整レンジ：±3°）

調整ノブを回して左右傾斜の調整をしてください。

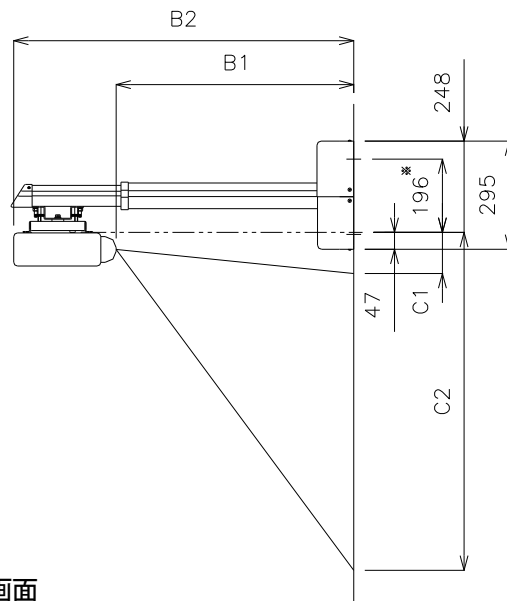
調整後は全ての調整ノブがしまっていることをご確認ください。

同時に調整



同時に調整

映写距離表



※壁面金具取り付け穴（11×19）位置と
プロジェクター取付面との距離

4:3 画面

[cm]

型(インチ)	画面サイズ (横×縦)	B1	B2	C1	C2
60	121.9×91.4	73	100.9	13.9	105.3
80	162.5×121.9	98	125.9	16.3	138.3

16:10 画面

[cm]

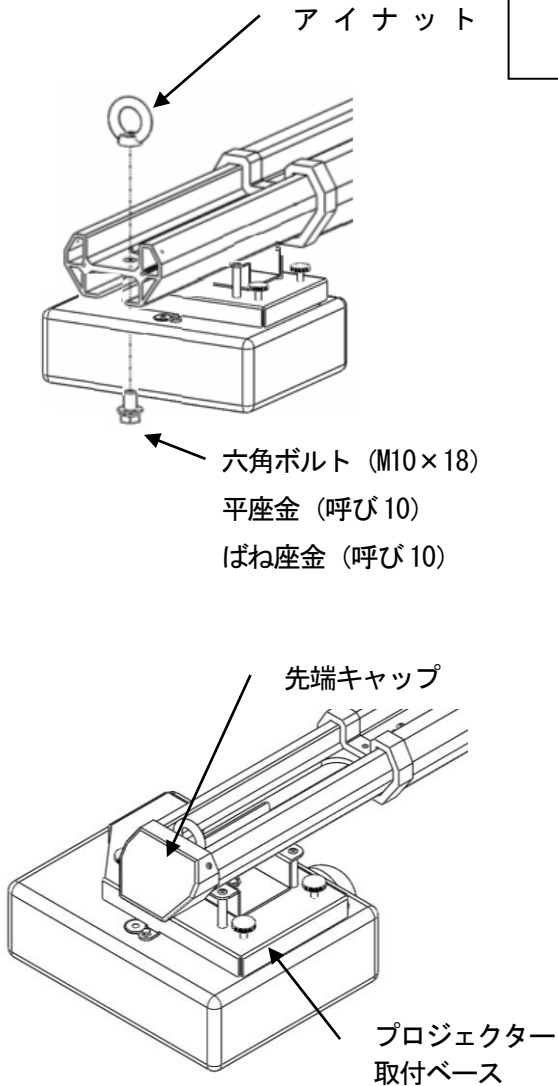
型(インチ)	画面サイズ (横×縦)	B1	B2	C1	C2
60	129.2×80.8	61	88.9	11.2	92.0
80	172.3×107.7	83	110.9	12.7	120.3
90	193.6×121.2	93	120.9	13.4	134.6

※ B1 調整可能範囲 55.9 cm~110.4 cm

補助ワイヤー設置要領

設置にあたって、必要に応じて補助ワイヤーを設置してください。補助ワイヤーの設置には、壁面または天井に2箇所のアナカーボルトの施工が必要です。壁面側もしくは天面側のアナカーボルト2箇所の施工については施工毎に環境に適した施工をお願いします。

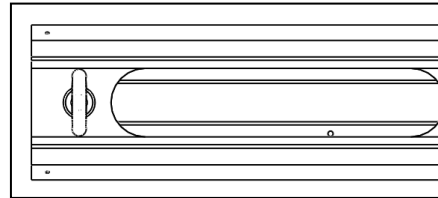
- 設置に必要な部品一覧
 ワイヤークリップ × 8 、 M10 アナカーボルト × 2 、 アイナット (M10) × 3 、
 ターンバックル × 2 、 ワイヤーφ3-2m × 2 、 六角ボルト (M10×18) × 1 、
 平座金 (呼び10) × 1 、 ばね座金 (呼び10) × 1



<1>

フレーム金具先端に六角ボルト (M10×18) と平座金 (呼び10)、ばね座金 (呼び10) を使用しアイナットを固定します。

アイナット固定の際は下図の向きで固定してください。アイナットの方向が違くと正しくワイヤーを固定できなくなります。



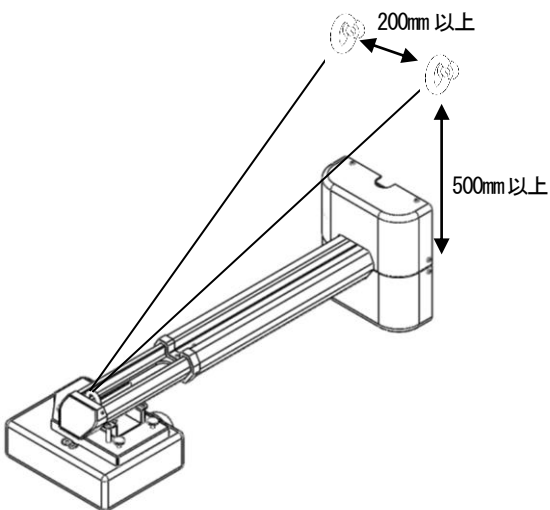
上から見た図

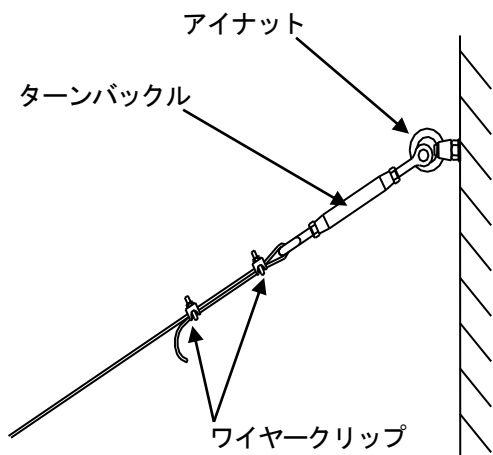
アイナット設置後は、先端キャップ・プロジェクト取付ベースを、所定の位置に固定してください。

<2>

左図の寸法を基に壁面側または天井側にアナカーボルトを取り付け、アイナットを固定してください。

アイナットの横方向の位置は、壁面金具の中心から左右均等になる様に取り付けてください。

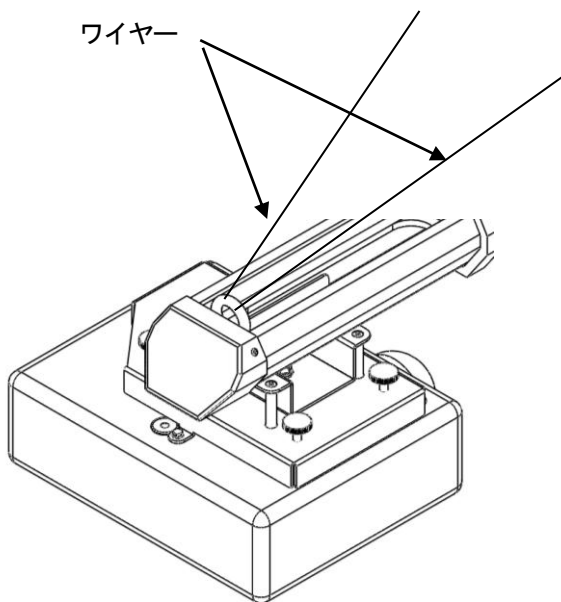




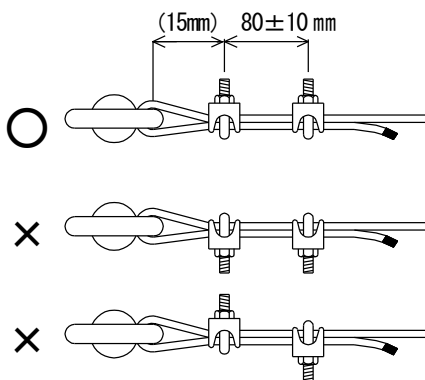
〈3〉

壁面のアイナットとフレーム金具の先端にあるアイナットにワイヤー（各1本）を通し、ワイヤークリップ（各4個）にて固定します。

ターンバックルを締めワイヤー2本に均等に荷重が掛かるようにターンバックルにて調整してください。



ワイヤークリップの正しい止め方



メ モ

株式会社リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売店にご連絡ください。転居先の最寄りの販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-6777

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0925 をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050 ビジネスダイヤルは、一部の IP 電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問い合わせの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は修理をお引き受けできない場合があります。

Y1186050C

Y1186050C